

II 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、多くの方々に展覧会の周知を図り、県民の美術への親しみや関心を深める。

(1) 講演会・シンポジウム・美術講座（美術館アカデミー）

会場 地階講堂（定員250名）、地階講座室、他

参加費 無料

期日	会場	講演	講師	内容	参加人数
25. 4. 6	企画2	詩の朗読会&学	荒木扶佐子（当館首席学芸員）	壁面にワイエスの作品を投影した中で、茨城県立図書館の録音図書ボランティアによるフロストの詩の朗読（英文と和文）を行った。	39
5. 12	室出口	芸員のトーク	荒木睦、滝田優子、立川みつよ（茨城県立図書館録音図書制作ボランティア）	続いて、フロストの詩とのコラボレーションの楽しみ方について、担当学芸員が語る内容となった。	69
25. 4. 28	講堂	「オルソン・ハウスをめぐるアンドリュー・ワイエスの世界」	前山裕司（埼玉県立近代美術館首席学芸員主幹）	埼玉県立近代美術館で開催したワイエス展を担当した前山氏が、丸沼芸術の森が所蔵する作品からオルソン・ハウスとワイエスの関係などを語った。	59
25. 7. 6	講堂	「美術がワカルとはなにか」	金子一夫（茨城大学大学院教授）	ワカラナイ作品であっても「喚起されるはずの感情」を感じ取ることができれば鑑賞は可能になる、と語る金子氏が『喚起されるはずの感情』とは何かを解説した。	54
25. 7. 21	講堂	「プチファール 熊田千佳慕人の魅力、作品の魅力」	今瀬佐和（当館主任学芸員）	熊田千佳慕の生涯を振り返りながら、自然に向けるまなざしからの自然観と作品からうかがえる作者の思いを、作品の映像を交えて担当学芸員が語った。	51
25. 8. 3	講堂	「千佳慕の視線で身近ないきものを観察する一家の周りからフィールドまで」	山根爽一（茨城大学名誉教授）	茨城のいきものに詳しい茨城大学名誉教授の山根氏が、いきものの専門家から見た熊田千佳慕の絵の特徴とともに、茨城で出会える虫や観察の仕方について語った。	50
25. 11. 10	講堂	「触れえないイメージとしての聖なるもの」	永松左知（当館学芸員）	展覧会の章構成に沿って、出品作品の画像を投影しながら、展覧会の企画意図と出品作品について解説し、触れることが難しく人々の希求する聖なるものについて考察を行った。	25
26. 2. 16	講座室	天心波山記念野点茶会	水戸何陋会（かろうかい）	天心波山事業を記念し、水戸何陋会の協力を得て天心波山記念事業実行委員会主催の茶会を開催した。	160
26. 2. 16	講堂	「アニメーションの線描についての考察」	島田裕之（茨城大学大学院教授）	2013年に公開されたアニメーション映画『かぐや姫の物語』で注目されている高畑勲監督のアニメーション作品を中心に、アニメーションにおける線描と演出表現の特徴や日本のアニメーションと日本画の線描との関係についての考察を行った。	67
26. 3. 9	天心記念五浦美術館	「五浦の天心、天心の五浦」	小泉晋弥（茨城大学大学院教授）、清水恵美子（茨城大学非常勤講師、五浦美術文化研究所客員所員）、立木智子（玉川大学非常勤講師）	茨城大学五浦文化研究所副所長を務める小泉氏、『五浦の岡倉天心と日本美術院』の著者である清水氏、『茶の本』の翻訳を手がけた立木氏がシパネリストとなり、それぞれの研究について発表した後、市川館長の進行で天心と五浦について語り合った。	84
26. 3. 11	講堂	「あの日を忘れない～『よみがえれ！六角堂』」	当館職員	東日本大震災から3年目を迎えた3月11日に、職員によるトークで震災当日から再開までの近代美術館の様子や、茨城大学を中心とした民間の力で完	25

	DVD上映とトーク		全復興した六角堂について紹介し、茨城大学から提供されたDVDを上映した。		
26. 3. 15	講堂	「日本画の近現代と現在－歴史・世界・社会観」	佐藤道信（東京藝術大学教授）	日本近代美術の研究者であり、また美術評論家として活躍する佐藤氏が、明治期の日本画や岡倉天心の活動を踏まえながら、日本画の概念形成などについて語った。	50

合 計 733

(2) ギャラリートーク**企画展ギャラリートーク**

学芸員や出品作家による企画展会場での作品解説。

期日	展覧会名	担当	参加人数
25. 4. 20	丸沼芸術の森所蔵アンドリュー・ワイ	荒木扶佐子（当館首席学芸員）	37
25. 4. 24	エス水彩・素描展 時間 午後1時30分～	荒木扶佐子（当館首席学芸員）※ボランティア向け	16
25. 4. 28	丸沼芸術の森アトリエ作家展	猪越夕香（丸沼芸術の森学芸員）	38
25. 5. 25 ～ 7. 7	「ワカラナイ」ノススメ ※会期中 32回実施 時間 午後1時～	当館職員	665
25. 8. 24	日本のプチファーブル 熊田千佳慕展	今瀬佐和（当館主任学芸員）	64
25. 9. 8	時間 午後1時～	今瀬佐和（当館主任学芸員）	50
25. 11. 3	聖なるものへ展	永松左知（当館学芸員）	31
25. 12. 21	時間 午後1時～	永松左知（当館学芸員）	47
25. 11. 17	聖なるものへ展	木下 晋（画家）	51
25. 11. 30	出品作家によるギャラリートーク	舟越 桂（彫刻家）	256
25. 12. 7	時間 午後3時～	山本直彰（画家）	47
26. 1. 18	第8回現代茨城作家美術展		178
1. 19	出品作家によるギャラリートーク		148
1. 25	時間 午前11時～		165
1. 26	午後2時～		225
2. 1			265
2. 2			165
2. 8			55
2. 9			48
26. 3. 1	岡倉天心没後100年記念展天心の思い	井野功一（当館主任学芸員）	55
26. 3. 16	描いたものーぼかしの彼方へ 時間 午後1時～	井野功一（当館主任学芸員）	60

合 計 2,666

「ようこそ美術の森へ～学芸員と巡るコレクション」

学芸員がファシリテーターとなり、対話をとおして所蔵作品を鑑賞する。

日時 毎月第三土曜日 午前11時から

期日	展覧会名	担当	参加人数
25. 4. 20	開館25周年記念 コレクション形成の物語1 志村氏の贈り物まで	井野功一（当館主任学芸員）	6
25. 5. 18	日本の近代美術と茨城の作家たちⅠ	永松左知（当館学芸員）	12
25. 6. 15	日本の近代美術と茨城の作家たちⅡ	今瀬佐和（当館主任学芸員）	8
25. 7. 20	開館25周年記念 コレクション形成の物語2 平成24年度新収蔵作品	澤渡麻里（当館主任学芸員）	20
25. 8. 17	日本の近代美術と茨城の作家たちⅢ	澤渡麻里（当館主任学芸員）	8
25. 10. 19	日本の近代美術と茨城の作家たちⅣ	井野功一（当館主任学芸員）	24

25. 11. 16	開館 25 周年記念 コレクション形成の物語 3 版画への眼差し—照沼コレクション	今瀬佐和 (当館主任学芸員)	3
25. 12. 21	日本の近代美術と茨城の作家たち V	石川淳子 (当館主任学芸主事)	8
26. 1. 18	開館 25 周年記念 コレクション形成の物語 3 版画への眼差し—照沼コレクション	今瀬佐和 (当館主任学芸員)	1
26. 2. 15	開館 25 周年記念 コレクション形成の物語 4 —木内克を愛したコレクターたち	長谷川彩 (当館学芸嘱託員)	2
26. 3. 8	開館 25 周年記念 コレクション形成の物語 4 —木内克を愛したコレクターたち	長谷川彩 (当館学芸嘱託員)	45
26. 3. 15	日本の近代美術と茨城の作家たち VI	永松左知 (当館学芸員)	10
			合 計 147

「コレクションミニガイド」

展示解説員 (GS) による分かりやすい所蔵品案内を開館日は毎日開催する。

平日は、午後 2 時から

土・日・祝日は、午前 10 時からと午後 2 時からの 2 回

開催日数 272 日

参加人数 2,725 人

(3) 実技講座・ワークショップ等

期日	テーマ	講師	参加人数
25. 4. 7	丸沼芸術の森出張アトリエ	長尾 望 (現代美術作家)	15
25. 4. 27	家族で Let' s プリント	当館職員, 筑波大学 CR	27
25. 4. 28	鳴子づくり	当館職員	17
25. 5. 3	心に残るレターセットづくり	当館職員	55
25. 8. 7	いばらきコープ「どきどき体験ツアー」	当館職員	30
25. 11. 22 ～11. 24	きんぴーぬりえ	当館職員	551
25. 11. 23, 24	なりきりきんぴー	当館職員	40
26. 1. 2, 3	へんがお福笑いであそぼう!	当館職員	6
26. 2. 23	「墨の魅力を味わおう」	荒井 経 (東京藝術大学准教授)	22
			合 計 763

(4) やぁ! ミュージアムキッズ

子供や親子向けに、当館職員が美術の見方・楽しみ方などを伝えるイベント。所蔵作品展を鑑賞後、講座室でワークショップを行う。

日 時 毎月第 2 土曜日 (8, 10 月を除く) 午前 10 時～12 時 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

対 象 幼児～小学生 (幼児は保護者と一緒に参加)

期日	展覧会	テーマ	参加人数
25. 4. 13	日本の近代美術と茨城の作家たち I	えのなかのひとたち 1	40
25. 5. 4	日本の近代美術と茨城の作家たち I	ゴールデンウィークスペシャル	35
25. 5. 5	日本の近代美術と茨城の作家たち I	ゴールデンウィークスペシャル	65
25. 6. 8	日本の近代美術と茨城の作家たち II	キラキラたいようのひかり	98
25. 9. 14	日本の近代美術と茨城の作家たち III	えのなかのひとたち 2	191

25. 11. 9	日本の近代美術と茨城の作家たちⅣ	ふしぎでステキ はんがのせかい	121
26. 1. 11	日本の近代美術と茨城の作家たちⅤ	さがしてみよう まる・さんかく・しかく	114
26. 2. 8	開館 25 周年記念 コレクション形成の物語 4 一木内克を愛したコレクターたち	あっちからこっちからちょうこく!	10
合 計			674

(5) ワークショップ「子どものためのオープンワークショップ」

幼児から小学生を対象に、身近な材料を使って造形体験や作品づくりをする。

会 場 地階講座室

時 間 午前10時～12時、午後1時30分～3時30分

参加費 無料

形 態 オープンワークショップ

期日	内容	参加人数
25. 7. 27	子どものためのオープンワークショップ夏	183
25. 7. 28	子どものためのオープンワークショップ夏	200
25. 12. 14	子どものためのオープンワークショップ冬	97
24. 12. 15	子どものためのオープンワークショップ冬	95
26. 3. 8	いろでたのしむワークショップ (天心展関連イベント) 講師 園家誠二 (画家)	40
26. 3. 9	いろでたのしむワークショップ (天心展関連イベント)	44
※「オープンワークショップ夏」は茨城大学教育学部との連携事業		合計 659

2 アートフォーラム

●内 容 来館者に美術に親んでもらうための教育普及のスペース。

●入場者数 39,923 人

(1) 展示コーナー

解説パネルコーナーと体験コーナーからなる当館所蔵品の魅力をわかりやすく紹介する。

展示期間	関連企画展	主 な 内 容	利用人数
4/ 1～5/19	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュ・ワイエス水彩・素描展	筑波大学 創造的復興教育プログラム 活動報告の展示発表	5,135
5/21～7/ 7	「ワカラナイ」ノススメ	武井武雄刊本作品	3,420
7/ 9～9/16	熊田千佳慕展	昆虫の標本 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館から借用) や千佳慕の絵本の展示や、体験型ワークショップとしてアリの巣をイメージした大きな迷路を設置	13,732
10/19～1/13	聖なるものへ展	油彩画の材料や技法の展示, 茨城の作家「木内克の世界」パネル紹介	7,845
1/15～2/ 9	現代茨城作家美術展	作家派遣事業生徒作品の展示	3,396
2/11～3/31	岡倉天心没後 100 年記念展	五浦時代の岡倉天心について資料を展示	6,395
合 計			39,923

(2) 情報コーナー

大型プラズマ TV の映像ブースと 6 台のタッチパネル式パソコンブースを設置し、DVD の番組や 9 つの能動的な美術鑑賞のソフトにより、子どもから大人まで楽しめるコーナー。

〈ソフト内容〉

- ・茨城県近代美術館へようこそ
- ・イベントナビ
- ・みんな DE アート
- ・デジタルアートライブラリー
- ・バーチャルミュージアム
- ・アトリエへようこそ
- ・体験! キミも学芸員
- ・芋銭さんの不思議な世界
- ・まよなかのびじゅつかん

(3) 図書コーナー

雑誌 447 冊

図書 2,499 冊

3 ミュージアムシアター

場 所 地階講堂

参加費 無料

期日	内容	監督/出演 他	参加人数
25. 6. 1	「ハーブ&ドロシー」	監督：佐々木芽生	53
26. 6. 22	「ハーブ&ドロシー」	監督：佐々木芽生	83
25. 6. 29	「ハーブ&ドロシー」	監督：佐々木芽生	104
25. 7. 14	「ビー・ムービー」	監督：サイモン・J・スミス	42
25. 7. 15	「劇場版ムーミン」	監督：マリア・リンドバーグ	62
25. 9. 15	「天心」メイキングビデオ 「六角堂再建記録映像」	監督：村松克也 (製作)茨城大学	56
26. 3. 16	「天心」	監督：村松克也	350
26. 2. 15 ～ 3. 21	「天心～時を超えた出会い」 毎週日曜日 午前11時～	茨城大学紙芝居プロジェクト 会場 アートフォーラムコーナー	554
合 計			1,304

4 ミュージアムコンサート

(1) ミュージアムコンサート

場 所 1階エントランスホール

参加費 無料 (ハガキによる申込制)

期日	時間	内容	備考(共催等)	参加人数
25. 12. 1	18:30～20:00	「ピアノと歌で贈るひそやかな祝祭」 鈴木範之 (ピアノ) 岡村麻未 (ヴォーカル)	いばらき文化振興財団	261
26. 2. 22	18:30～20:00	「天心のふれた西洋音楽」 加藤弦楽四重奏団 須山暢大(ヴァイオリン) 濱田彰子(ヴァイオリン), 鈴木大樹(ヴァイオリン) 横田誠治(チェロ), 久保一麻(オーボエ/ゲスト出演)	天心波山記念事業実行委員会	423
合 計				684

(2) 高校生によるギャラリーコンサート

場 所 1階エントランスホール

参加費 無料

期日	内容	備考(共催等)	参加人数
26. 1. 18	水戸第三高等学校 音楽科・コーラス部	現代茨城作家美術展	105
26. 1. 19	茨城高等学校 吹奏楽部	現代茨城作家美術展	95
26. 1. 21	水戸第一高等学校 吹奏楽部	現代茨城作家美術展	120
26. 1. 22	水戸第一高等学校 合唱同好会	現代茨城作家美術展	135
26. 1. 26	水戸第二高等学校 コーラス部	現代茨城作家美術展	180
26. 2. 1	緑岡高等学校 吹奏楽部	現代茨城作家美術展	145
合 計			780

5 企画展関連その他のイベント

期日	内容	企画展名	参加人数
25. 4. 1 ～5. 19	館内スタンプラリー	朝霞市 丸沼芸術の森所蔵アンドリュ ュー・ワイエス水彩・素描展	209
25. 7. 9 ～9. 16	大きな迷路	日本のプチファーブル 熊田千佳 慕展	3,792
25. 7. 13 ～9. 26	館内スタンプラリー	日本のプチファーブル 熊田千佳 慕展	2,688
25. 11. 3 ～1. 13	館内スタンプラリー	聖なるものへ展	459
26. 2. 15 ～3. 21	館内スタンプラリー	岡倉天心没後100年記念展 天心の 思い描いたもの	342
合計			7,490

6 中村彝アトリエ

- 内容** 水戸市出身の中村彝は洋画家として明治の終わりから大正期にかけて美術界で活躍したが、大正13年に37歳でこの世を去った。彝の制作舞台になった東京都新宿区下落合のアトリエを当館敷地内に新築復元し公開している。
- 公開時間** 午後1時～3時
(土・日・祝日は午前10時30分から公開)
- 入場者** 2,680人



7 団体利用

- 内容** 来館した団体に対し、希望により美術館や展覧会の概要を説明するオリエンテーションなどを行った。

来館状況	団体数	人数
計	292	11,688

オリエンテーション実施状況	団体数	人数
計	255	9,320

8 美術館セミナー

- 目的** 学校における美術館利用の促進、学校教育に対応した美術館事業の効果的実施を図るとともに、美術館と学校との連携を進める。

期日	時間	内容	講師	参加人数
25. 8. 7	13:30～15:30	館外実施① (石岡市) 1 教育普及事業紹介 2 展覧会紹介「熊田千佳慕展」 3 鑑賞活動演習 (出前イベント, 出前授業)	当館職員	24

25. 8. 20	10:00～12:00	館外実施②（鹿嶋市） 1 教育普及事業紹介 2 展覧会紹介「熊田千佳慕展」 3 鑑賞活動演習「児童・生徒作品の指導に生かす 絵画作品の見方と観点」	当館職員	17
25. 8. 23	9:50～15:30	第1回 1 学校連携事業案内と美術館の活用法紹介 2 企画展「熊田千佳慕展」見所紹介 3 企画展鑑賞並びにアートカードの活用演習 4 美術講演会「素材との出会い ～見て触れて広がる世界～」	降旗千賀子 （目黒区美術館 学芸員）	76
25. 10. 13	10:00～14:00	第2回 1 講義「子どもの絵の見方」 2 演習「水彩絵の具の基本的な使い方 初級編」	当館職員	27
26. 1. 26	10:00～14:00	第3回 1 事業報告「ぼくの色, わたしの色～本当の“緑” を探して～」 2 ワークショップ体験「“緑”を使って, 平面から 立体へ展開する」 3 第8回現代茨城作家美術展鑑賞	内海聖史 （画家）	11
合 計				155

9 出前授業・出前イベント「ハロー！ミュージアム」

●目的 学校や各施設における美術館利用の促進, 美術鑑賞に対応した美術館事業の効果的实施に資するために, 出前授業・出前イベントを開催する。

●始業時期 平成15年10月

●内容 BD, 当館製作のパソコンソフト, プロジェクター, スクリーンを搭載した公用車で, 希望する学校や各種施設などに訪問して行う美術館職員によるトークを組み合わせた館外イベント。

(1) 出前授業

美術館職員がゲストティーチャー (GT) として, 授業に参加。担任の先生と美術鑑賞の授業を展開する。

(2) 出前イベント

美術館職員がオープニングから作品鑑賞, エンディングまで展開する。

平成25年度出前授業・出前イベント「ハロー！ミュージアム」実績（団体別実績）

団 体	稼働日数	上映回数	人 数
幼稚園	9	10	648
小学校	47	123	6,132
中学校	3	5	203
高等学校	0	0	0
特別支援学校	3	3	65
福祉施設	2	2	67
公民館・図書館	6	6	214
各種団体	6	6	232
館内上映	6	8	245
大 学	0	0	0
合 計	82	163	7,806

10 学校・地域との連携

(1) 職場体験受け入れ

期日	学校名	参加人数
6/7	東海村立東海南中学校	5
7/25～7/26	水戸市立笠原中学校	8
7/31	笠間市立岩間中学校	2
7/31	茨城大学教育学部附属中学校	5
8/7	常陸大宮市立大宮中学校	2
8/1～8/2	大洗町立第一中学校	6
8/8～8/9	常陸大宮市立大宮中学校	10
11/6～11/7	ひたちなか市立勝田第二中学校	12
11/20	ひたちなか市立佐野中学校	5

合計 55

(2) インターンシップ受け入れ

期日	学校名	参加人数
8/27	茨城大学教育学部	3
9/3～9/8	茨城大学教育学部	1
9/3～9/8	茨城大学農学部	1
9/3～9/8	昭和女子大学現代教養学科	1
9/10～9/15	茨城大学教育学部	2
10/3～10/4	茨城県立水戸商業高等学校	4
10/16～10/18	茨城県立笠間高等学校	4
11/9, 11/23・24	日本女子大学文学部	1
12/10	茨城大学教育学部	2

合計 19

(3) 教職員等研修

期日	団体名	参加人数
25. 5. 21	県図工美術研究部支部長会議	55
25. 6. 20	県幼稚園連合会研究推進委員研修	25
25. 7. 24	若手教員（初任者）研修講座 高等学校	103
25. 7. 30	若手教員（初任者）研修講座 中学校A班	100
25. 8. 6	水戸市図工美術研究部発表会	50
25. 8. 7	若手教員（初任者）研修講座 中学校B班	94
25. 8. 8	県図工美術研究部研修会	50
25. 8. 21	若手教員（初任者）研修講座 小学校A班	97
25. 8. 27	若手教員（初任者）研修講座 小学校B班	109
25. 12. 16	茨城県高等学校教育研究会美術工芸部鑑賞指導	30

合計 713

(4) 茨城大学との連携

①美術館における大学のインターンシップ授業の開催

「総合演習」の授業を通して、夏のオープンワークショップの企画運営を連携で実施

担当 片口直樹（茨城大学准教授）

参加者 茨城大学教育学部 学生 23 名

②大学の授業の一部を美術館で展開

茨城大学教育学部「図画工作科内容研究」の授業として、所蔵品の解説を含む作品鑑賞と、美術館における普及活動についての説明を内容とした授業を展開した。

期日	内 容	参加人数
6.1	図画工作内容研究（美術館見学）	19
6.2	〃	28
6.9	〃	24
合 計		71

③美術館アカデミー

大学の研究内容を美術館で公開した。

期日	内容	講師	参加人数
25. 7. 6	美術がワカルとは何か	金子一夫（茨城大学大学院教授）	54
26. 2. 16	アニメーションの線描についての考察	島田裕之（茨城大学大学院教授）	67
合 計			121

(3) 作家派遣事業

期日 平成25年12月12日

目的 芸術に対する関心を高めるとともに、美術家の制作活動や生き方に触れ、キャリア教育の一助とする。

内容 「ぼくの色、わたしの色 ～本当の“緑”を探して～」

講師 内海聖史氏（画家）

古河市立駒羽根小学校5学年児童 61名が、絵の具を混色し、自分なりの“緑”づくりを行った。画用紙にさまざまな“緑”を色付けし、全員の作品をつなげて体育館ギャラリーに展示した。個々の“緑”が大きな一つの“緑”となって体育館を華やかにした。完成した作品は、アートフォーラムコーナーに展示し、一般公開した。

(5) その他、関係機関・団体等との連携・協働事業

①朝霞市（埼玉県）との連携

「朝霞市 丸沼芸術の森所蔵アンドリュー・ワイエス水彩・素描展」の関連展示としてアートフォーラムコーナーでは、朝霞市のパンフレット、マスコットキャラクターぬいぐるみや「彩夏祭」（関東最大のよさこい祭り）を紹介する写真パネルや鳴子等を展示のために借用し、丸沼芸術の森の所在地である朝霞市の紹介展示をした。また、朝霞市からは「深井戸天然水 朝霞の雫」500ml入120本の提供を受けてオープニング当日の入場者先着120名に配布した。

②株式会社クサカベからの資材提供

埼玉県朝霞市の画材メーカーである株式会社クサカベから提供を受けた水彩絵具等の資材を活用し、ワークショップ「心に残るレターセットづくり」を開催した。また、クサカベからは5月4、5日に開催したミュージアムキッズゴールデンウィークスペシャルに対しても材料の提供を受けた。

〔心に残るレターセットづくり〕

期日 5月3日

参加者 55人

③栗原紙器製作所（埼玉県）からの資材提供

「日本のプチフェアブル 熊田千佳慕展」関連展示で、「大きな迷路」の資材として段ボール迷路の提供を受けた。

期間 7月9日～9月16日

参加者 3,792人

④ミュージアムパーク茨城県自然博物館との連携

「日本のプチフェアブル 熊田千佳慕展」関連展示で、来館した家族連れに楽しんでいただくために熊田千佳慕の絵本に因んで巨大昆虫模型（フンコロガシ、アリ、スズメバチ）、昆虫標本（カメムシ、セミ、ゾウムシ、オトシブミ、オサムシ、チョウ、バッタ、カブトムシ、クワガタ等）をミュージアムパーク茨城県自然博物館から借用し展示した。

⑤県立図書館との連携

玄関ロビーに展覧会を紹介するコーナーを設置し、展覧会毎にポスターやイベントチラシを掲出。また、通年で開催されているライブラリーシアター、春と秋の読書フェスティバルに参加し、ハロー！ミュージアムの開催

及び展覧会等の広報活動を行った。

また、エントランス奥にある県民ギャラリーにおいて、当館所蔵の豪華複製画による「印象派の作家たち展」を開催した。

〔県立図書館複製画ギャラリー展〕

期間 10月8日～10月13日 計6日間

入場者 8,603人

⑥ 地元事業者（洋菓子店、雑貨店、飲食店等）との協働

ブログのマスコットキャラクター「きんびー」に対する美術館利用者の支援への感謝や、美術館の賑わいを創出し当館利用者数の向上に寄与するため、地元事業者（洋菓子店、雑貨店、飲食店等）と協働し、第2回「マルシェ・ド・ノエル」を開催した。

期間 11月22日～24日 計3日間

来場者 8,500人

⑦ いばらきコープとの連携

福島子ども支援プロジェクトの事業としていばらきコープが主催する8月7日～8日（1泊2日）の「どきどき体験ツアー」において、8月7日に当館を会場に「日本のプチフェアブル 熊田千佳慕展」鑑賞とワークショップを開催した。

期日 8月7日

参加者 30名

⑧ (公財)いばらき文化振興財団との共催

「聖なるものへ展」関連イベントとして、いばらき文化振興財団の支援で「ピアノと歌で贈るひそやかな祝祭」と題して当館エントランスにおいてコンサートを開催した。

期日 12月1日

参加者 261人

⑨ 茨城大学との連携

「岡倉天心没後100年記念展 天心の思い描いたもの」において、子どもにも岡倉天心の業績を楽しみながら知ってもらうことをねらいとし茨城大学教育学部紙芝居研究会が紙芝居を制作・上演した。定期開催（毎週日曜午前11時～）の他に、展覧会鑑賞のために天心波山記念事業実行委員会が借り上げたバスを利用して来館した学校団体向けにも紙芝居を上演した。また、茨城大学からDVD『よみがえる！六角堂』を上映権付きで寄贈を受け、東日本大震災3年目を迎えた3月11日に「あの日を忘れない～『よみがえる！六角堂』DVD上映とトーク」イベントを開催した。

(紙芝居上演)

期日 (定期開催) 2月16日, 2月23日, 3月2日, 3月9日, 3月16日

(鑑賞バス) 2月18日2校, 2月19日, 2月21日2校, 2月26日, 3月13日, 3月18日

参加者 554名

(DVD上映とトーク)

期日 3月11日

参加者 25人

⑩ 水戸何陋会との連携

「岡倉天心没後100年記念展 天心の思い描いたもの」開催を記念して、天心波山記念事業実行委員会と当館と水戸何陋会の連携事業として野点茶会を実施した。

期日 2月16日

参加者 160人

⑪ 美術館内レストラン（民間：施設使用許可先）との協働

展覧会にちなんだ特別メニューやレストラン満席時のテイクアウトメニューの開発を依頼。美術館ではテイクアウトメニューを摂ることのできる屋外の休憩スペース（テラスに椅子とテーブルを設置）を用意した。また、「聖なるものへ展」における「MOMA コン」では、美術好きの独身男女に出会いの場所を提供するイベントを開催した。

期日 12月21日

参加者 30名

⑫第53回関東甲信越静地区造形教育研究大会茨城大会への協力

当館において、当館職員をゲストティーチャーに所蔵作品展の鑑賞と鑑賞を下地にしたワークショップを内容とした幼稚園部会研究授業公開と分科会を開催した。

期日：11月15日

11 アートカード

(1)内容 茨城県ミュージアム活性化支援事業実行委員会の支援を受けて制作。当館所蔵作品64点のカードと活用の手引きをセットにして、美術館セミナーでの研修、学校等への貸出を行った。

(2)個数 8セットずつ10組 ばら20セット 合計100セット
件数：144

12 複製画

●内容 環境教育、美術の授業、他教科への応用、部活動での活用等を目的とした学校教材として、主に学校向けに複製画の貸出を行っている。

●複製画点数 164点

●貸出実績 79件 309点

13 博物館実習

●概要 博物館法第5条第1項第1号に該当するものを対象とし、当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、各大学からの依頼に基づき実施している。

●参加大学 群馬県立女子大学 聖心女子大学 高崎経済大学 筑波大学 東洋大学

●参加人数 7人

●平成25年度学芸員実習プログラム

期日	時間	実習テーマ	形態	場所
8/17 (土)	9:00～9:30 9:30～9:50 10:00～10:50 11:00～12:00 13:00～14:30 14:40～16:20 16:30～17:00	オリエンテーション 自己紹介・職員紹介 学校等教育機関との連携と意義 美術館の組織と運営 企画展・所蔵作品展鑑賞 美術館における鑑賞シートの作成① まとめと反省	講義 講義 視察 実習	会議室 事務室 会議室 会議室 展示室 会議室 会議室
8/18 (日)	9:00～12:00 13:00～14:00 14:10～16:20 16:30～17:00	作品保存の実際(野外彫刻の洗浄と保存処理) 展覧会のあり方と実際 図書資料等整理の実際② まとめと反省	講義 講義 実習	文化センター前 会議室 資料室 会議室
8/19 (月)		休館日		
8/20 (火)	9:00～10:00 10:10～11:00 11:10～12:00 13:00～13:50 14:00～14:50 15:00～16:20 16:30～17:00	「美術館教育」における普及活動の概要と意義 美術館における広報活動の実際と意義 美術館における鑑賞シートの作成② 美術館建築の実際 普及活動(アートフォーラム・各種講座等)の実際 美術館における鑑賞シートの作成③ まとめと反省	講義 講義 実習 視察 実習	会議室 会議室 会議室 館内 会議室 会議室 会議室

8/21 (水)	9:00~10:00 10:10~11:00 11:10~12:00 13:00~14:10 14:20~16:20 16:30~17:00	作品の収集について 美術館ボランティアのあり方と実際 美術館における鑑賞シートの作成④ 館長講話 展示解説員のあり方と実際 まとめと反省	講義 講義 実習 講義 講義 講義実習	会議室 会議室 会議室 会議室 展示室 会議室
8/22 (木)	9:00~ 9:50 10:00~10:50 11:00~12:00 13:00~16:20 16:30~17:00	映像を使った鑑賞教育 作品整理のあり方 作品整理の実際① 同上 まとめと反省	講義実習 講義 実習	講座室 会議室 収蔵庫 会議室
8/23 (金)	9:00~12:00 13:00~14:20 14:30~15:30 15:40~16:00 16:00~16:20 16:30~17:00	作品整理の実際② 美術館における鑑賞シートの作成⑤ 美術館における鑑賞シートの講評 まとめと反省 修了証書授与式 事後オリエンテーション	実習 実習 実習	収蔵室 会議室 会議室 会議室 館長室 会議室

14 ホームページ (<http://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>)

●パソコン版ホームページ

(1) 概要

美術館利用者の利便を図るため、利用案内、あるいは美術館で開催する展覧会およびイベント情報、さらに出版物や所蔵作品などについて、多様な来館者を想定して情報を提供している。また、申込書など各種様式をダウンロードすることができ、問い合わせは同サイト上よりメールを送信することも可能。

開催中の企画展紹介を中心に、最新のニュースや該当月のイベント情報を列記している。また、美術館近隣のギャラリーでのイベント情報を掲載しており、茨城県美術館（つくば美術館・天心記念五浦美術館・茨城県陶芸美術館）各サイトへのリンクと共に、近隣施設のイベント情報が確認できる。



(2) ページ構成

- ① 展覧会
- ② イベント
 - ・各種イベントの概要説明とPR
- ③ キッズページ
 - ・子ども向けのイベント紹介。
- ④ 教育・研究
 - ・学校や各種施設を対象にしたイベントの紹介とレポート。
- ⑤ アーカイブス
 - ・茨城県近代美術館協議会、過去の展覧会やコレクションの紹介、教育普及活動のレポート
- ⑥ English Information
 - 「Greetings」 「Basic Philosophy」 「Activities」 「Museum Hours&Access」 「Special Exhibition Information」

ブログキャラクター「きんぴー」

(3) 関連リンク他

- ・デジタルサイネージ 所蔵品検索システム
- ・茨城県近代美術館ブログ
ブログキャラクターの「きんぴー」を案内役に、美術館職員との対話形式で展覧会やイベントの様子などを紹介。

(4) アクセス数

201,826件（トップページアクセス件数）

●モバイル版ホームページ

(1) 概要

高度情報通信ネットワーク社会に対応し、効果的な情報発信と顧客へのサービス向上を図るため、美術専門雑誌を刊行する出版社が運営するモバイルコンテンツを利用して、展覧会やイベント情報などを発信している。

(2) ページ構成

- ① お知らせ
 - ・企画展でのイベント情報などを中心に紹介
- ② 企画展スケジュール
- ③ 所蔵作品展
- ④ インフォメーション
 - ・子ども向けワークショップ、レストラン、ミュージアムショップ、車椅子の利用案内等について紹介
- ⑤ 利用案内
 - ・利用時間、休館日、入館料、アクセス方法を掲載

(3) アクセス数 22,329 件（トップページ年間アクセス総数）

15 美術品簡易模写

●概要

本物の作品の模写を通して絵画の構図や色彩、画家の作風や技法等の理解を図るために主として中学生、高校生を対象に当館の美術品（所蔵品に限る）簡易模写を実施した。

実施回数	参加学校数	参加人数	1回あたりの時間	模写の場所
8回	8校	205人	3～4時間	常設展示室 エントランスホール

17 広報印刷物

・美術館だより

No. 95 平成25年6月4日

No. 96 平成25年9月27日

No. 97 平成26年2月7日

・展覧会イベントスケジュール2014年4月-2015年3月 平成26年3月19日

・茨城県近代美術館スケジュールカレンダー「美術館で楽しもう！」(子ども向け年間スケジュール) 平成26年3月28日

・「こどものためのワークショップガイド2013」 平成26年3月19日

・茨城県近代美術館紹介リーフレット 平成25年9月27日

・平成24年度年報 平成25年10月1日



美術館だより No. 95



美術館だより No. 96



美術館だより No. 97



展覧会イベントスケジュール



茨城県近代美術館スケジュールカレンダー
「美術館で楽しもう」



こどものための
ワークショップガイド2013



茨城県近代美術館紹介
リーフレット



平成24年度茨城県近代美術館年報